

あわらの市の 子どもたち

令和5年度

全国学力・学習状況調査

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が全国の児童生徒（小学6年生、中学3年生）を対象として行う調査です。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、平成19年度より実施されています。学力を問う出題だけでなく、児童生徒の学習環境や生活環境の質問紙調査も行われています。

この度、令和5年4月に実施された調査について、本市の結果を公表します。この結果については、調査日時点でのものであること、成長過程の子どもたちの限られた教科の結果であること、また、学習状況の部分的な調査であることをご承知おきください。

本市としましては、教育活動を評価するための一つの資料として有効に活用してまいります。また、児童生徒の学力の向上には、学校と家庭、地域の連携が不可欠です。今回の公表結果を通して、三者の連携体制をより一層強く築くための一助にしたいと考えております。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■調査対象

小学校6年の児童及び中学校3年の生徒

■調査事項

- 1 教科に関する調査
 - ・小学校国語、算数
 - ・中学校国語、数学、英語
 - ・中学校英語は4年ぶり2度目の実施
- 2 教科に関する調査の内容
 - ・知識と活用を一体的に問う問題形式で出題
- 3 質問紙調査
 - ・生活習慣や学習環境に関する質問



■教科に関するあわらの市の調査結果から

全国・県平均正答率との比較(Pはポイント)

3P以上高い→◎ 0～3P高い→○ 0～3P低い→▽ 3P以上低い→▼

小6	国との比較	県との比較
国語	○	▽
算数	◎	○

中3	国との比較	県との比較
国語	◎	○
数学	◎	○
英語	◎	◎

【小学校 概要】

小学校の平均正答率は、昨年に引き続き、全ての教科（国語、算数）において全国
の平均正答率を上回っています。県の平均正答率との比較では、国語が 1.0 ポイント
下回りました。

また、全ての教科において、「知識・技能」は全国や県の平均正答率を上回り、「思考・
判断・表現」は全国の平均正答率を上回りましたが、県の平均正答率を 2.0 ポイント
下回りました。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」すべてにおいて、平均正答率が全国
平均を上回りました。

【小学校 教科別の成果と課題】

小学校国語

「良好」な内容

- ◎目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること
- ◎目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の
考えをまとめること
- ◎学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

「課題」となる内容

- ▲文章の種類とその特徴についての理解
- ▲目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること

小学校算数

「良好」な内容

- ◎ともなって変わる二つの数量が比例関係にあることを用いて、知りたいの数量
の求め方と答えを、式や言葉を用いて記述すること
- ◎台形の意味や性質についての理解
- ◎一の位が0の二つの2位数についての乗法の計算
- ◎（ ）を用いた式や、加法と減法の混合した式を場面と関連付けて読み取ること
- ◎加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること
- ◎示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせた棒グラフを読み、見出し
た違いを言葉と数を用いて記述すること

「課題」となる内容

- ▲高さが等しい三角形について、底辺と高さの関係を基に面積の大小を判断し、
その理由を言葉や数を用いて記述すること
- ▲（2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を
考えること
- ▲百分率で表された割合についての理解

【中学校 概要】

中学校の平均正答率は全ての教科（国語、数学、英語）において全国や県の平均正答率を上回っています。

また、全ての教科において、「知識・技能」及び「思考・判断・表現」とともに全国や県の平均正答率を上回る高い正答率でした。

英語の「話すこと」においては、全国の平均正答率を上回ったものの、決して高くはありませんでした。

【中学校 教科別の成果と課題】

中学校国語

「良好」な内容

- ◎自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと
- ◎文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること
- ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること

「課題」となる内容

- ▲事象や行為、心情を表す語句についての理解
- ▲読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること

中学校数学

「良好」な内容

- ◎累積度数の意味理解
- ◎目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること
- ◎四分位範囲の意味理解
- ◎結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結論を振り返って考え、成り立つ事柄を見出し、説明すること
- ◎ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること

「課題」となる内容

- ▲空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることについての理解
- ▲反比例の意味理解

中学校英語

「良好」な内容

- ◎社会的な話題について、短い文章の要点を捉えること
- ◎文と文の関係を正確に読み取ること
- ◎日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ること
- ◎社会的な話題について、短い説明の要点を捉えること

「課題」となる内容

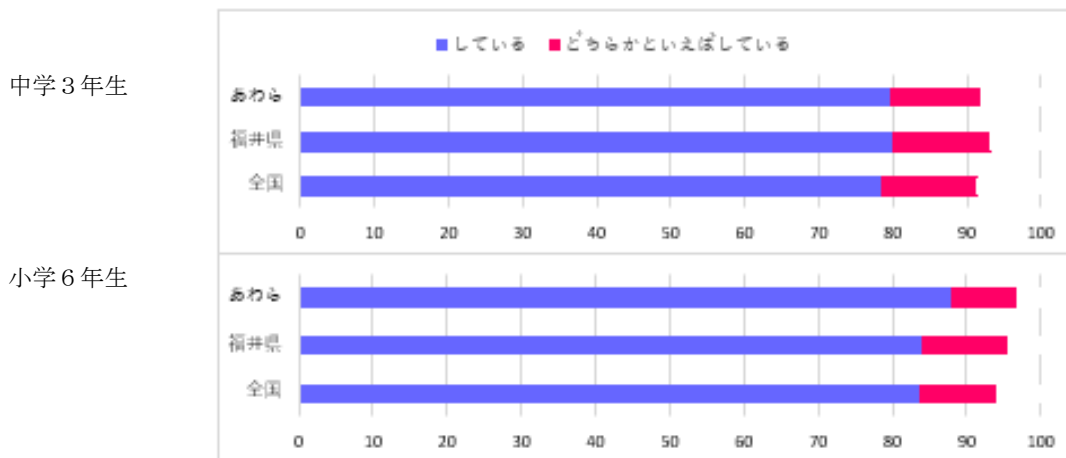
- ▲情報を正確に聞き取ること
- ▲未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くこと
- ▲疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くこと
- ▲「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くこと
- ▲「話すこと」において、疑問文の特徴を理解し、その知識をやり取りの場面で活用すること

■児童生徒質問紙調査の結果から

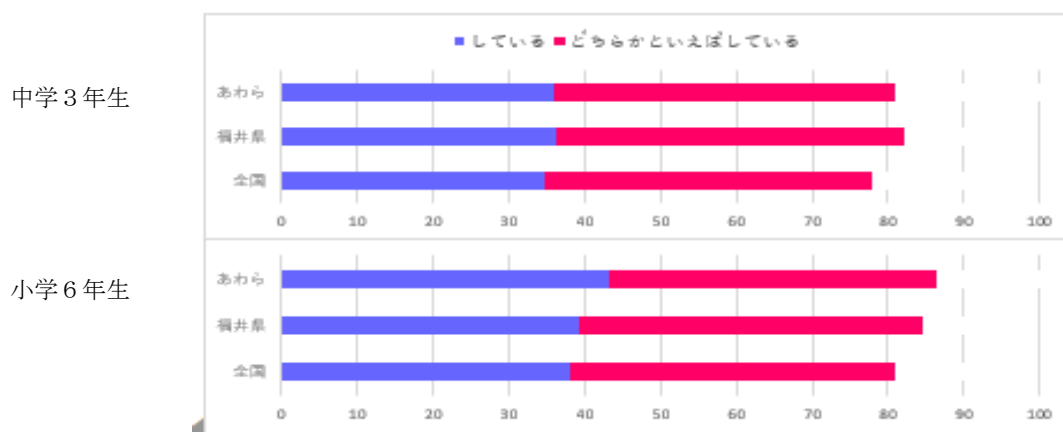
生活習慣

「朝食を毎日食べる」「毎日、同じ時刻に寝ている」など規則正しい生活を送っている児童生徒が多いようです。

○朝食を毎日食べていますか。



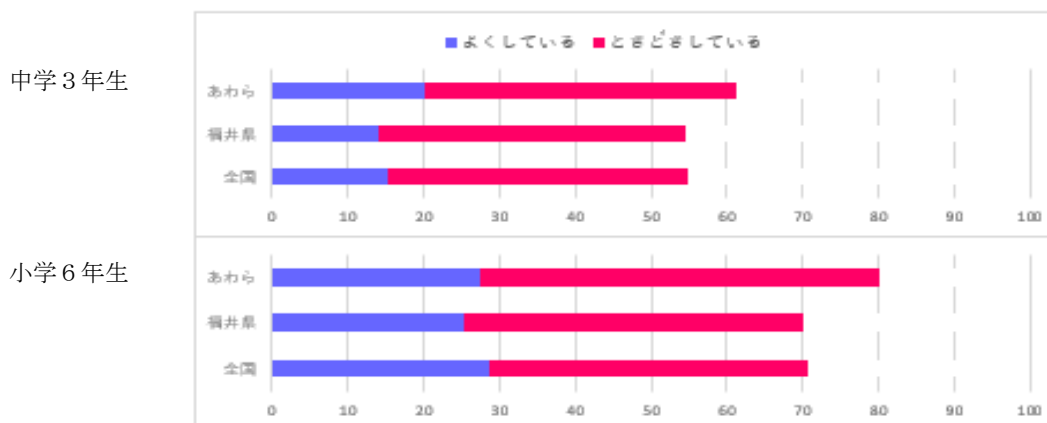
○毎日、同じ時刻に寝ていますか。



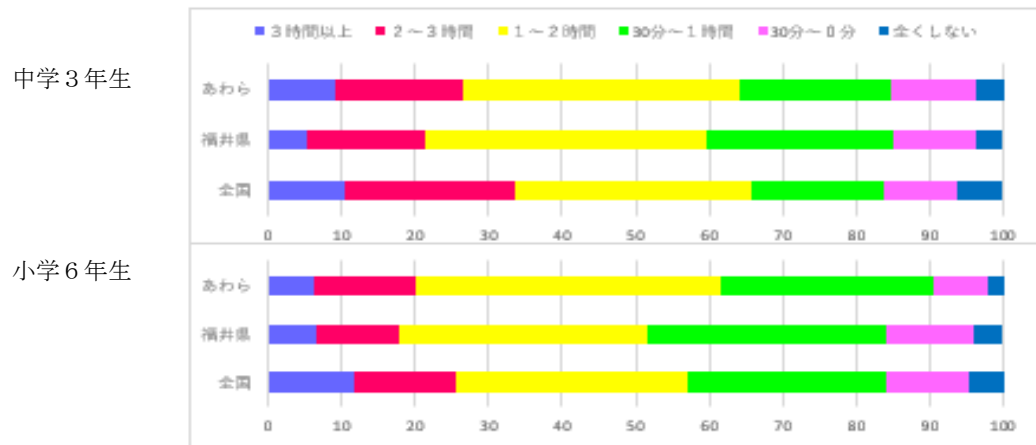
学習習慣

児童生徒ともに、自分で計画的に学習すると回答した割合が、国や県と比較して、高いです。
 児童生徒の普段の読書時間は、国や県の平均とほぼ変わらない状況ですが、中学生の不読率が高いようです。
 読書が好きと答えた児童生徒の割合は、国や県の平均とほぼ変わらない状況です。

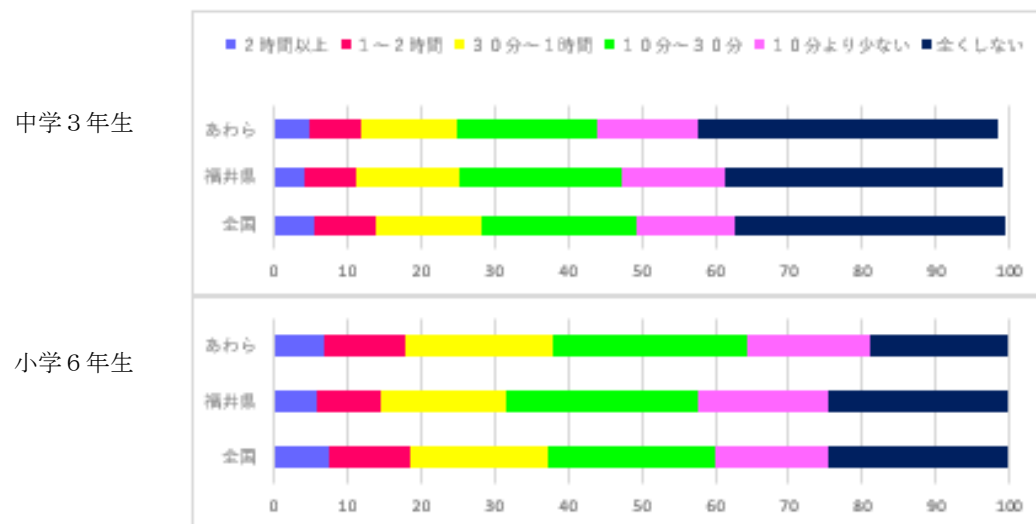
○家で、自分で計画をたてて勉強をしていますか。



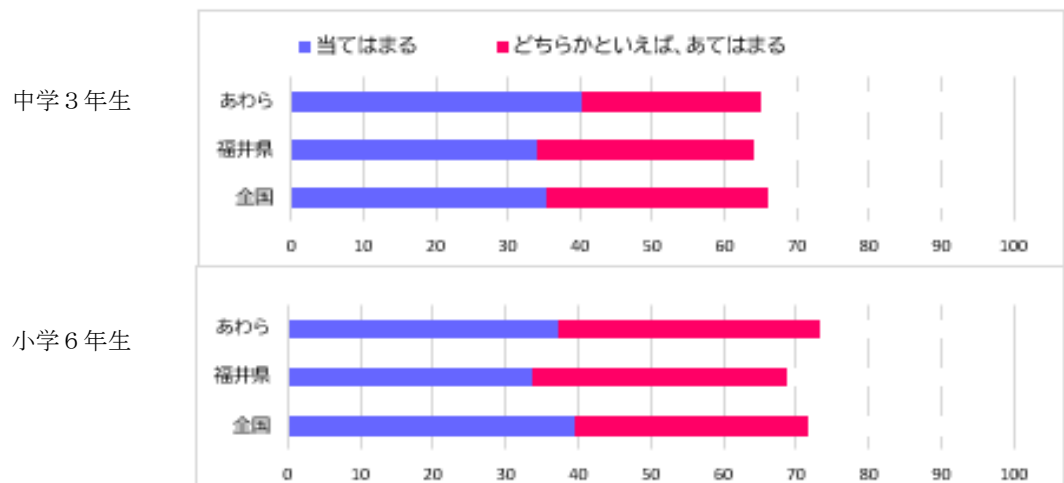
○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい勉強をしますか。



○学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらい読書をしますか。



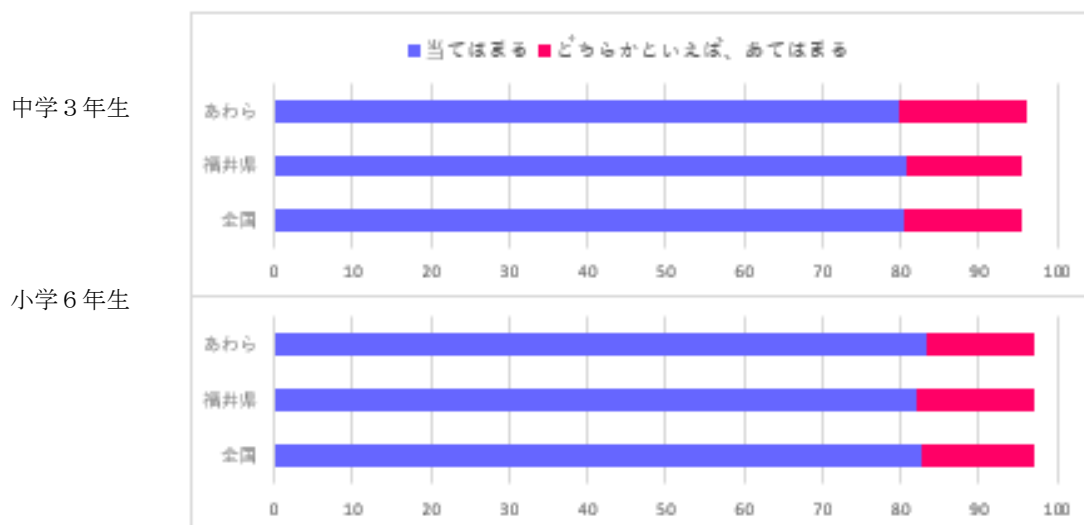
○読書は好きですか。



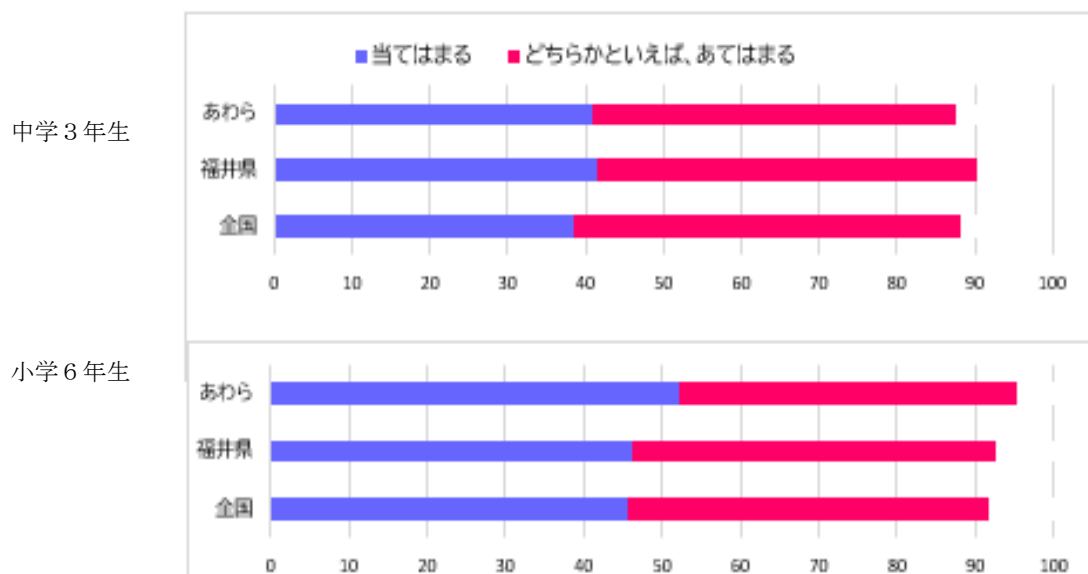
いじめ

いじめはどんなことがあってもいけないことです。このことについては、引き続き真剣に考えていかなければなりません。また、困っている人に対して、見て見ぬふりをする風潮にも注意が必要です。

○いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか。



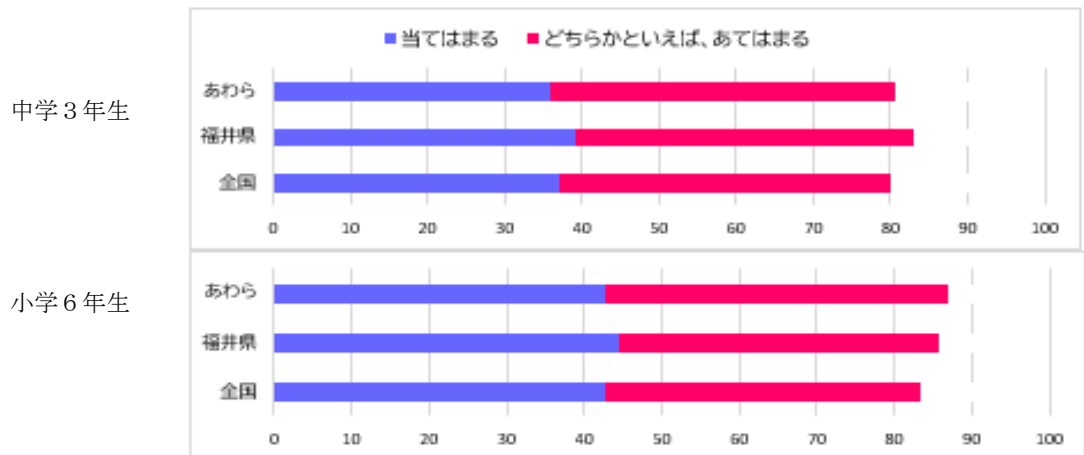
○人が困っているときは、すすんで助けていますか。



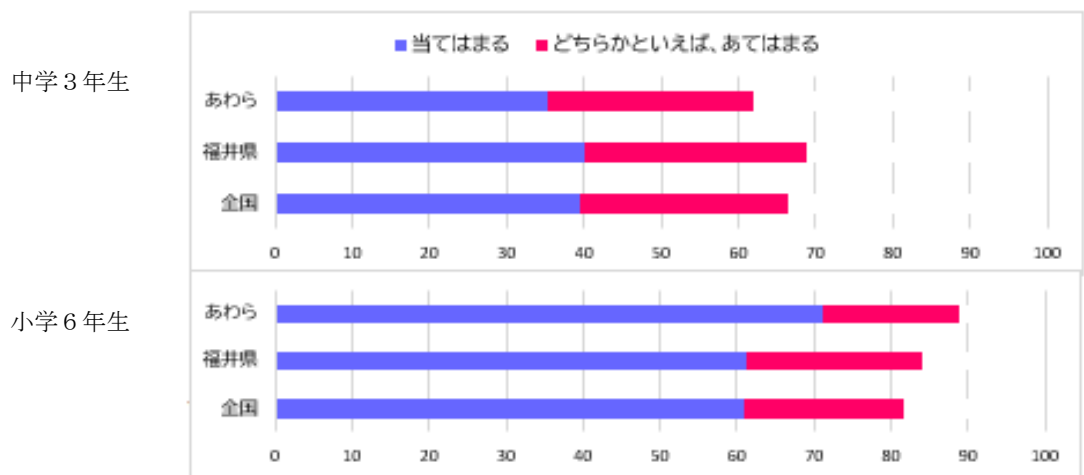
自尊感情等

「自分に良い所がある」、「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立つ人間になりたい」と答えた小学生の割合が高いです。中学生は、国や県と同等または若干下っています。

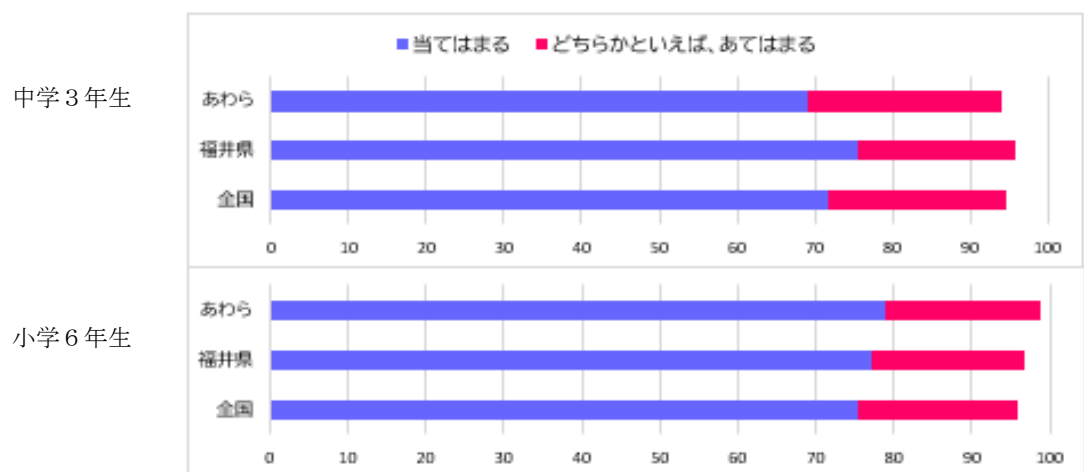
○自分には、よいところがあると思いますか。



○将来の夢や目標を持っていますか。



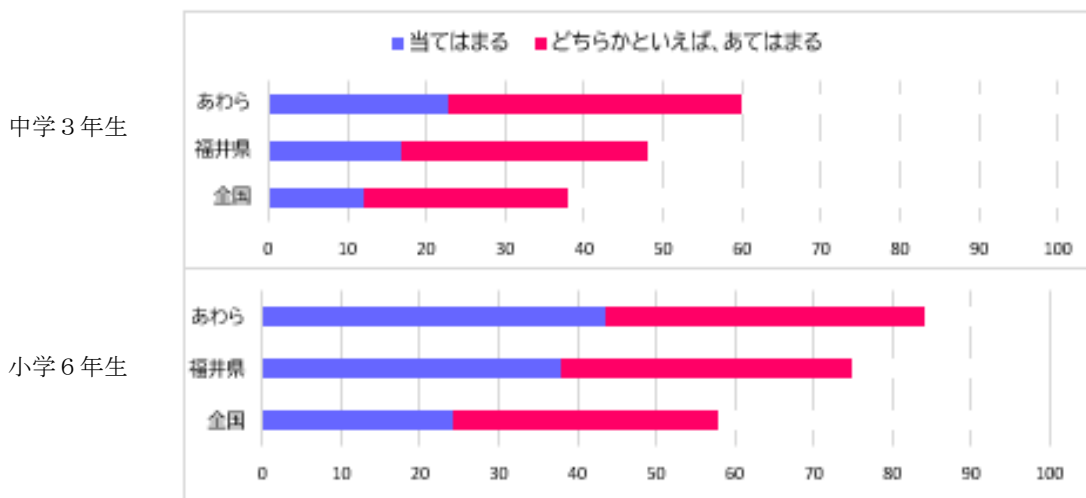
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



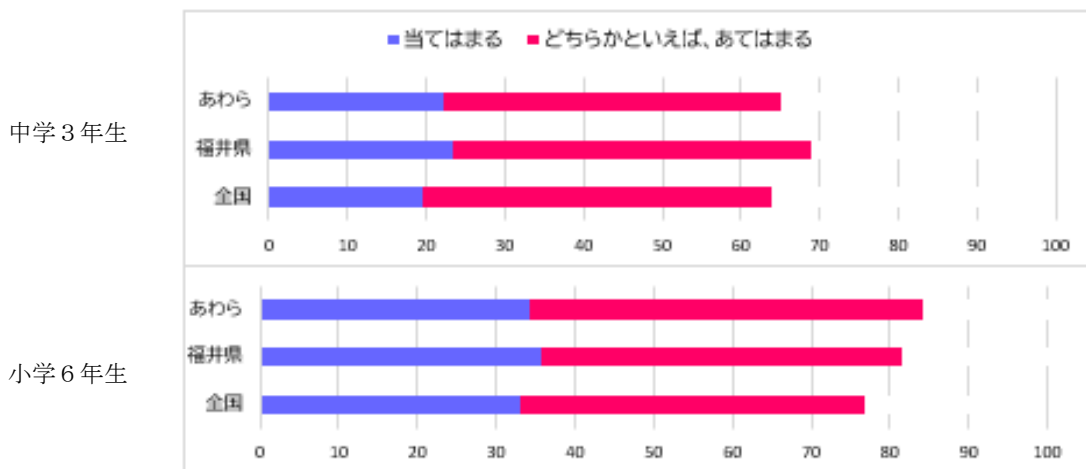
社会性

児童生徒は地域の行事に積極的に参加しています。
地域のために貢献したいという意欲については、小、中学生ともに高い傾向です。

○今住んでいる地域の行事に参加していますか。



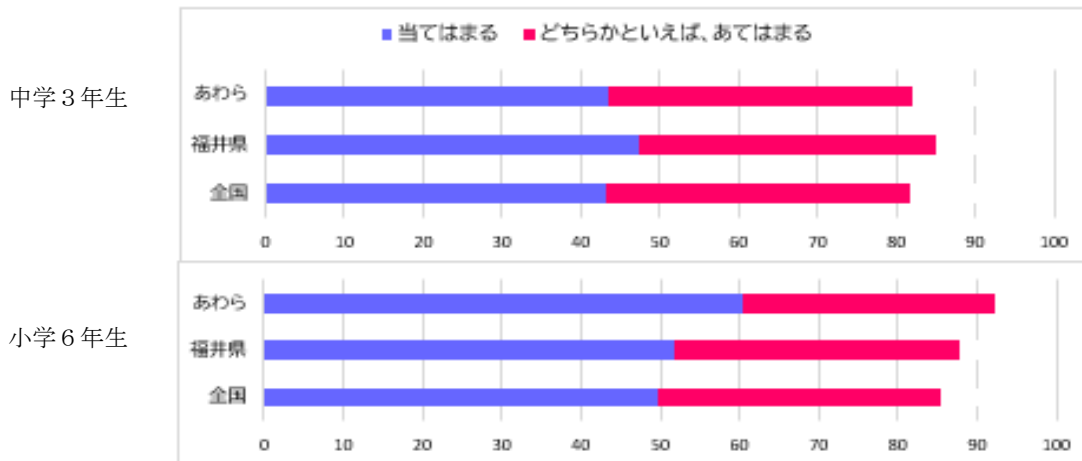
○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



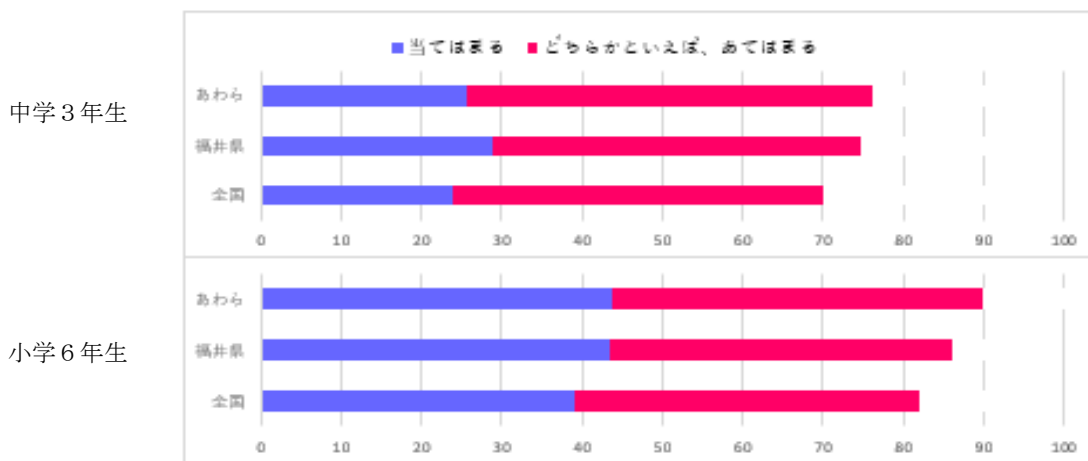
その他 1

学校が楽しいと感じる児童生徒の割合が高いですが、中学生は県を下回りました。また、授業で学んだことをほかの学習に生かしたり、次の学習に生かそうとしていたりしている児童生徒の割合が高いです。

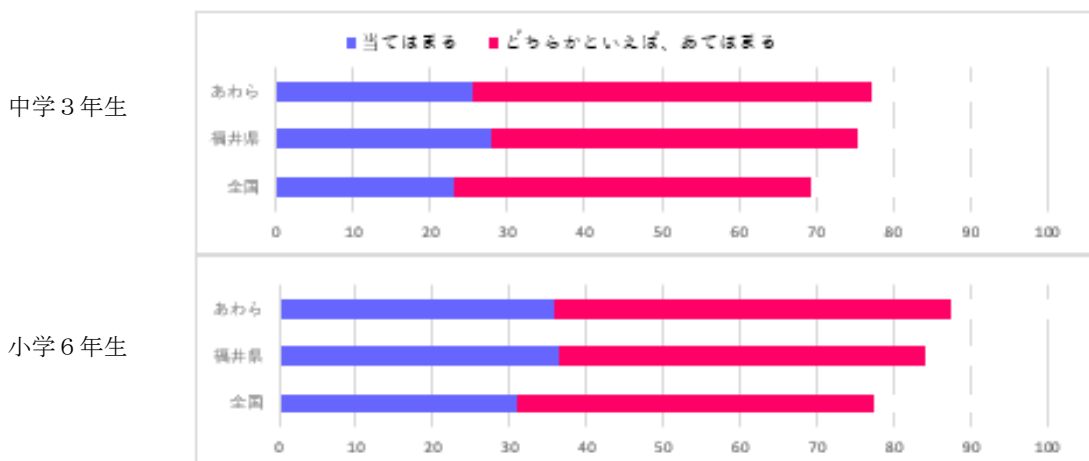
○学校へ行くのが楽しいと思いますか。



○授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。



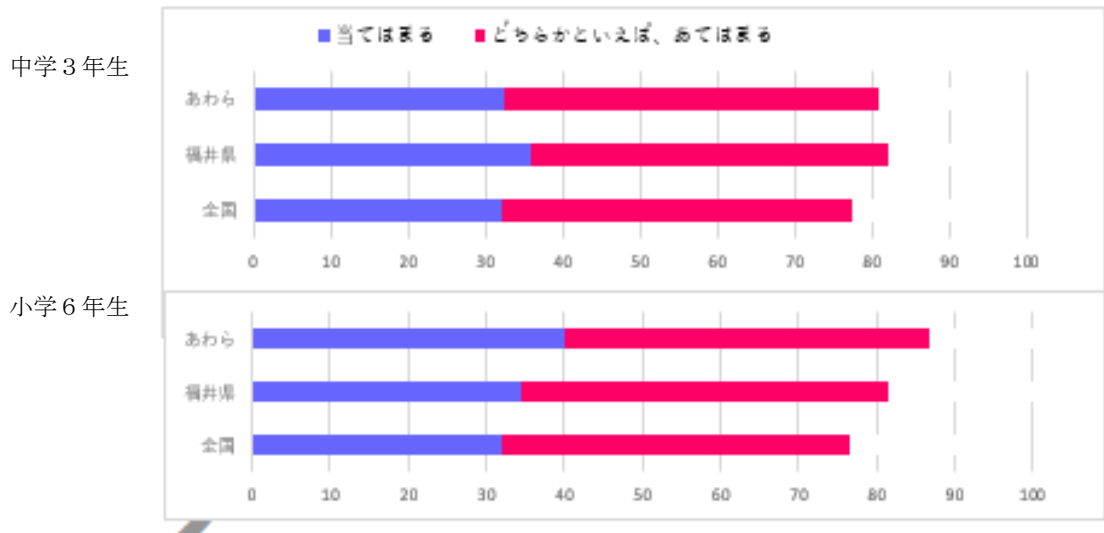
○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



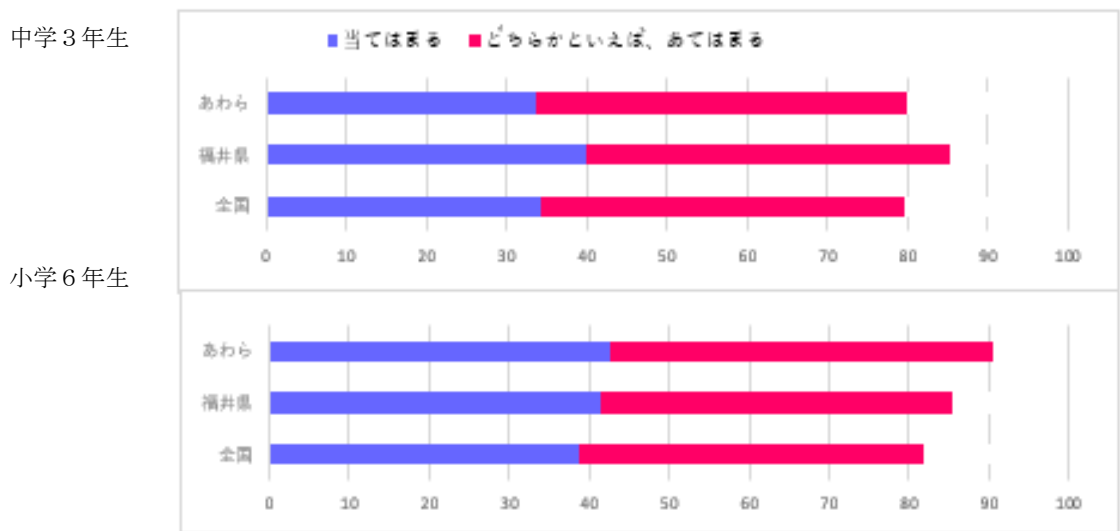
その他2

自分と違う意見について考えるのが楽しいと答えた児童生徒の割合が高いです。学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできているようです。

○自分と違う意見について考えるのは楽しいですか。



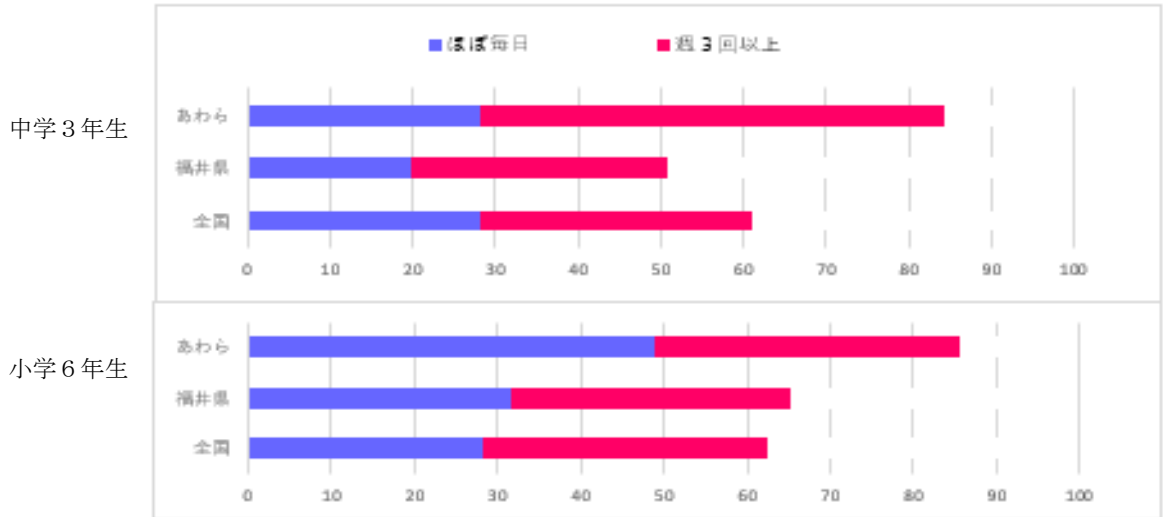
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



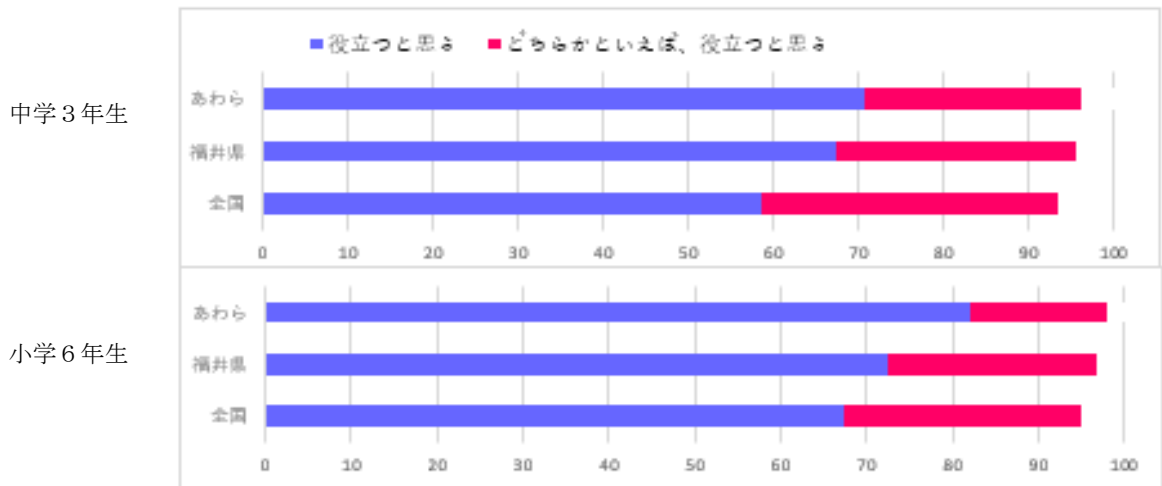
その他3

中3、小6ともに、それまでに受けた授業で、PC・タブレットなどICT機器を頻繁に使用している答えた児童生徒の割合が顕著に高いです。
また、ICT機器を使うのは勉強の役に立つと答えた児童生徒の割合も高いです。

○中学校1、2年のときに（小学校5年生までに）受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



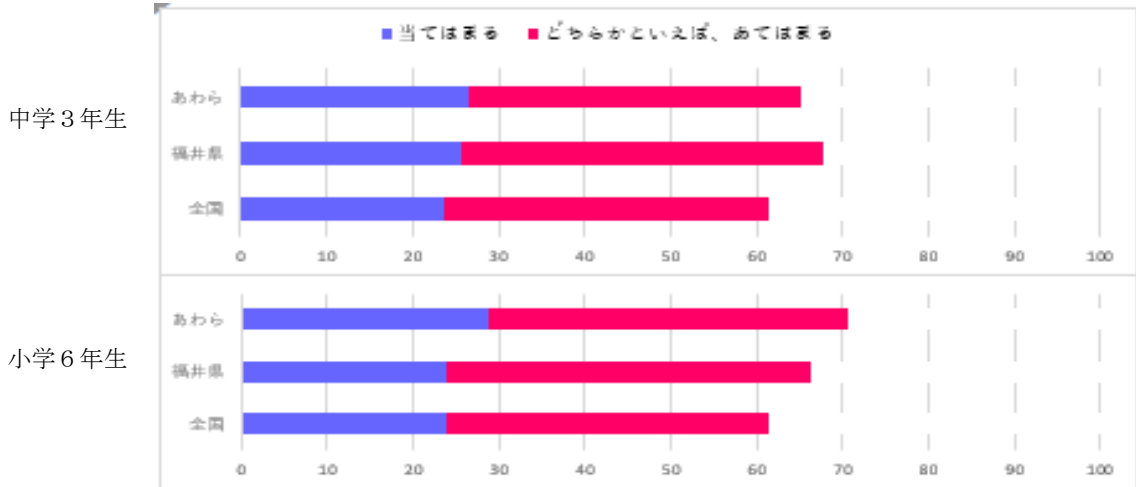
○学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。



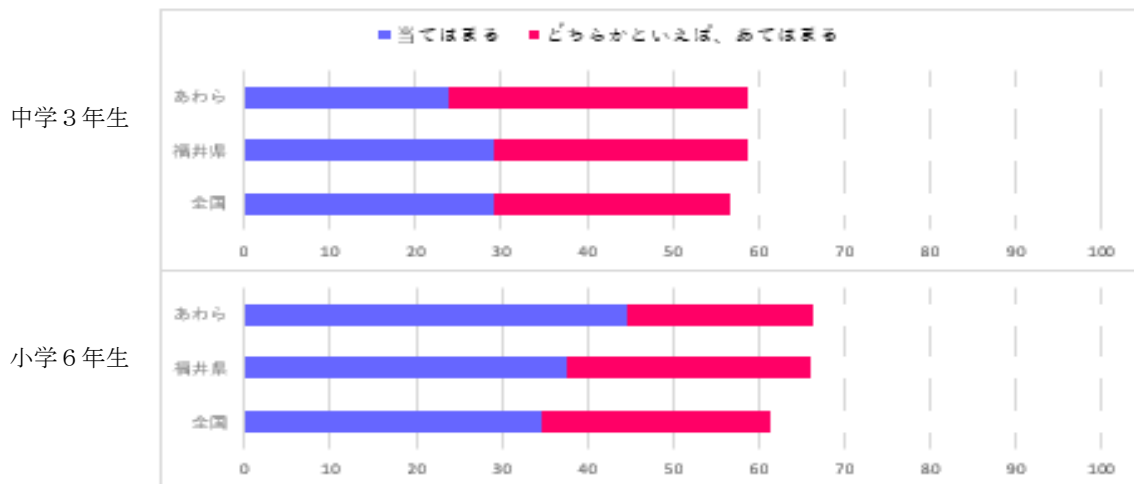
その他 4

国語、数学（算数）、英語について、その教科の勉強が「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた児童生徒の割合は、国語、数学（算数）は小、中学校ともに高いようです。中学校英語が、全国、県に比べ若干低い傾向です。

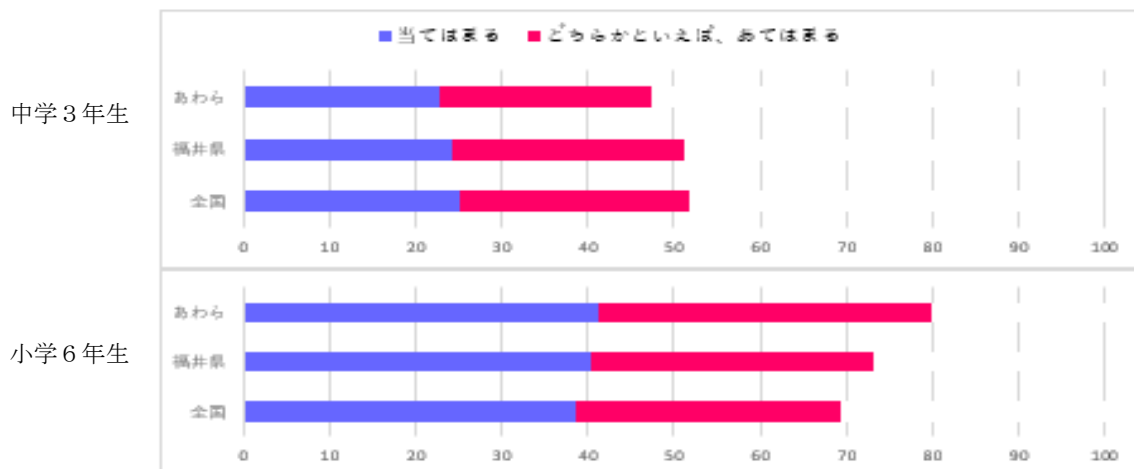
○国語の勉強は好きですか。



○数学（算数）の勉強は好きですか。



○英語の勉強は好きですか。



問い合わせ先 教育総務課 ☎ 73-8039